



HIKVISION

ネットワーク魚眼カメラ

クイックスタートガイド

Made in China

UD.6L0201B1907A01

www.hikvision.com

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2015 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等を禁ず。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示的にせよ黙示的にせよ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

このマニュアルは 63xx ネットワークカメラに適用されます。本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。当社 Web サイトで最新版を参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISIONでは明示、黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえHIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネット アクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティ リスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠:この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定される、デジタル デバイスの制限に適合することが確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って取り付けおよび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。
www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。
www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 基準要件を満たしています。

安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告:この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

注意:この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可能性があります。

	
警告 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	注意 ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。



警告

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 24 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1 つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。

- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。



注意

- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正であることを確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないください。
- センサー モジュールを指でさわらないください。清掃が必要な場合、清潔な布に少量のエタノールをつけ、やさしく拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レンズ キャップを装着し、センサー部をほこりから防護してください。
- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けないください。焦点ボケや不鮮明化が起こる可能性があります(動作不良ではありません)、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。
- センサーはレーザー光線によって焼き付く可能性があるため、レーザー装置を利用する場合には、センサーの表面がレーザー光線にさらされることのないようにしてください。

ネットワーク魚眼カメラ・クイックスタートガイド

- カメラを非常に高温または低温の場所(動作温度は -30℃ ~ +60℃、またはカメラのモデル名の末尾に「H」がある場合、-40℃ ~ +60℃です)、ホコリや湿気の多い場所に設置しないでください。また強度の電磁放射線に当てないでください。
- 熱がこもらないように、動作環境には適切な換気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包材か、同じ素材のもので梱包してください。
- 定期的な部品の交換: 装置のいくつかのパーツ(たとえば電解コンデンサ)についてはパーツの平均耐久時間に応じて、定期的に交換してください。動作環境と利用状況によって平均耐用時間は変わりますので、定期的な点検をすべてのユーザにおすすめします。詳細については販売店に確認してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものとだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービス センターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解しようとししないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題について、弊社はいかなる責任も負いません。)

目次

1 外見の説明	10
1.1 魚眼カメラの概要	10
1.2 カメラの分解	11
2 取り付け	13
2.1 天井マウント	14
2.2 傾斜取り付けベースによる壁への取り付け	16
2.3 ジャンクションボックスによるマウント	19
2.4 取付金具による壁面マウント	21
3 LAN 経由のネットワークカメラの設定	23
3.1 配線	23
3.2 カメラのアクティベート	24
3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション	24
3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション	26
3.3 IP アドレスの変更	27
4 Web ブラウザ経由のアクセス	30

1 外見の説明

1.1 魚眼カメラの概要

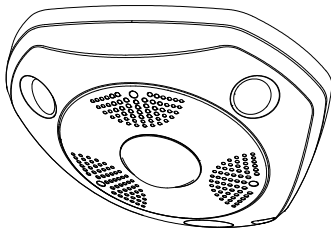


図 1-1 魚眼カメラの概要

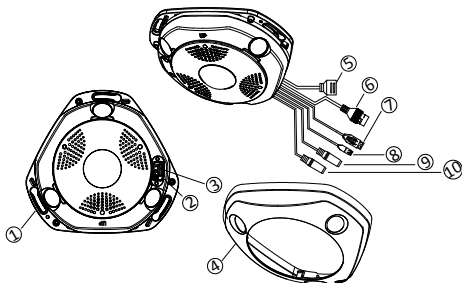


図 1-2 魚眼カメラの分解

表 1-1 概要の説明

番号	説明	番号	説明
1	カメラ本体	6	イーサネットインターフェイス
2	リセット	7	RS-485 インターフェイス
3	microSD カードスロット	8	電源インターフェイス
4	カメラカバー	9	音声入力
5	アラームインターフェイス	10	音声出力

1.2 カメラの分解

手順:

1. カメラカバーのロックネジをゆるめます。
2. カメラカバーを取り外すと、楕円形の取り外し可能なシートがあります。
3. 取り外し可能な部分のネジを 2 か所ゆるめます。
4. 楕円形のシートを取り外すと、リセットボタンと microSD カードスロットがあります。

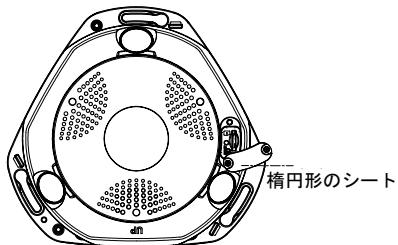


図 1-3 楕円形シートの取り外し



カメラの電源がオンの状態またはリブート中にRESETを10秒間押すと、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などを含む設定を初期化することができます。

2 取り付け

始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 標準の電源は 12 V DC、または 24 V AC です。供給電源がカメラと一致していることを確認してください。
- 設置作業中はすべての関連装置の電源がオフになっていることを確認します。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 壁面が、カメラと取付金具の重量の 4 倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。

赤外線をサポートするカメラについては、赤外線の反射を防ぐために、以下の注意事項に留意する必要があります:

- ドームカバーに付着したほこりや油は赤外線の反射を引き起こします。ドームカバーのフィルムは、設置が完了するまではがさないでください。ドームカバーにほこりや油が付着した場合、柔らかく清潔な布とイソプロピルアルコールでドームカバーを清掃してください。
- カメラのレンズのすぐそばに反射面がないことを確認してください。カメラからの赤外線光がレンズに反射される可能性があります。
- レンズの周りのフォーム リングは円蓋の内面と面一に保ち、レンズが赤外線 LED から隔離されるようにしてください。ドームカバーはフォームリングと継ぎ目なく繋がるようにカメラ本体に固定してください。

2.1 天井マウント

手順:

1. 同梱のドリルテンプレートにしたがい、ドリルでネジ穴とケーブル孔を3か所、空けてください。

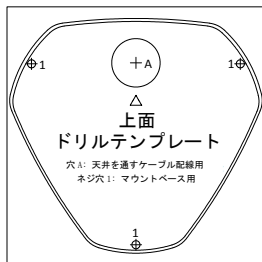


図 2-1 ドリルテンプレート

2. 同梱の3つのネジを天井に対し、カメラの本体をひっかけるための十分なスペースが残るよう、半分までねじ入れます。

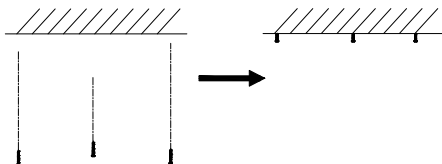


図 2-2 ネジの固定

3. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、オーディオ、およびアラームケーブルを接続します。
4. 挿入されたネジにネジ穴を合わせ、カメラの本体をネジにひっかけ、カメラ本体がネジで固定できるように調整します。
5. 半分まで挿入されたネジをハンマーで天井に完全に打ち込みます。
6. カメラカバーをカメラの本体に取り付け、カメラカバーのロックネジを締めて固定します。

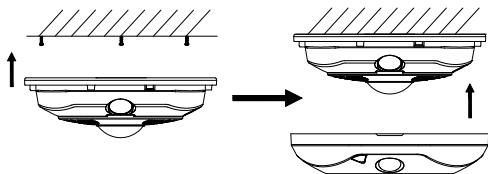


図 2-3 カメラの取り付け

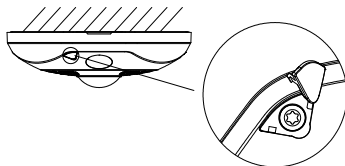


図 2-4 カメラカバーのロックネジの固定

2.2 傾斜取り付けベースによる壁への取り付け

傾斜マウントベースによる壁面への取り付けは、通常の壁面マウントよりも広い監視視野を提供できます。この取付方式を選択する場合、別売の傾斜マウントベースを購入する必要があります。

手順:

1. 傾斜マウントベースをネジで天井に固定します。

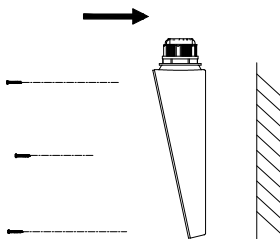


図 2-5 傾斜マウントベースの固定

2. 3 つのネジをマウントベースに対して半分までねじ入れます。

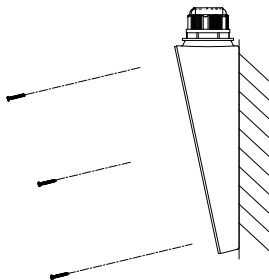


図 2-6 ネジの固定

3. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、オーディオ、およびアラームケーブルを接続します。
4. 挿入されたネジにネジ穴を合わせ、カメラの本体をネジにひっかけ、カメラ本体がネジで固定できるように調整します。
5. 半分まで挿入されたネジを壁面に完全に挿入します。
6. カメラカバーをカメラの本体に取り付け、カメラカバーのロックネジを締めて固定します。

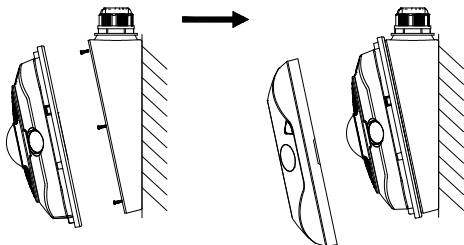


図 2-7 カメラ本体とカバーの取り付け

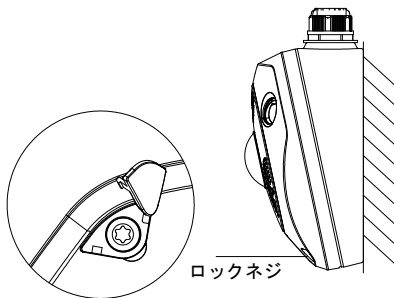


図 2-8 カメラカバーのロックネジの固定

2.3 ジャンクションボックスによるマウント



この取付方式を選択する場合、別売のジャンクションボックスを購入する必要があります。

手順:

1. ジャンクションボックスをネジで壁面に固定します。

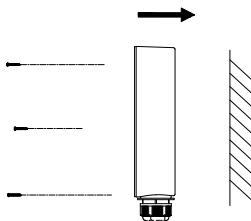


図 2-9 ジャンクションボックスの固定

2. 同梱の3つのネジをジャンクションボックスに対して半分までねじ入れます。
3. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、オーディオ、およびアラームケーブルを接続します。
4. 挿入されたネジにネジ穴を合わせ、カメラの本体をネジにひっかけ、カメラ本体がネジで固定できるように調整します。
5. 半分まで挿入されたネジを壁面に完全に挿入します。

6. カメラカバーをカメラの本体に取り付け、カメラカバーのネジを締めて固定します。

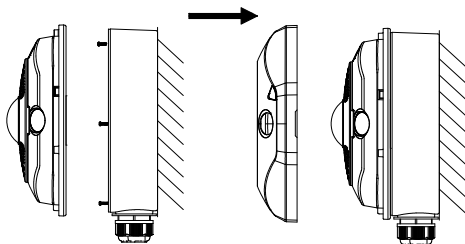


図 2-10 カメラ本体とカバーの取り付け

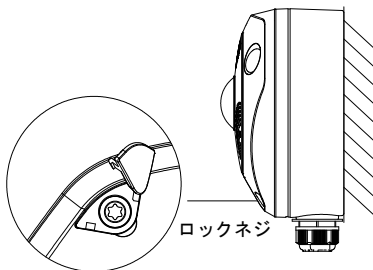


図 2-11 カメラカバーのロックネジの固定

2.4 取付金具による壁面マウント



この取付方式を選択する場合、別売の取付金具を購入する必要があります。

1. 取付金具を壁面に固定します。
2. マウントベースを取付金具に固定します。
3. 同梱の3つのネジをマウントベースに対して半分までねじ入れます。

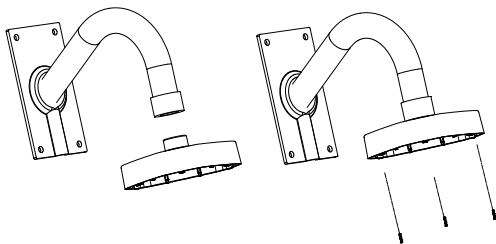


図 2-12 取付金具の設置

4. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、オーディオ、およびアラームケーブルを接続します。
5. 挿入されたネジにネジ穴を合わせ、カメラの本体をネジにひっかけ、カメラ本体がネジで固定できるように調整します。
6. 半分まで挿入されたネジをマウントベースに完全に挿入します。

7. カメラカバーをカメラの本体に取り付け、カメラカバーのネジを締めて固定します。

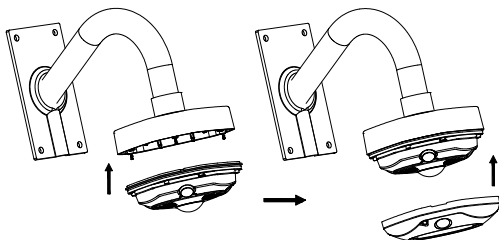


図 2-13 カメラ本体とカバーの取り付け

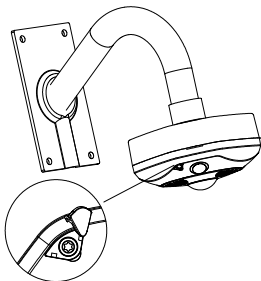


図 2-14 カメラカバーのネジの固定

3 LAN 経由のネットワークカメラの設定

注意:

インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合と、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾すると見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。製品が正常に動作しない場合、販売店やお近くのサービス センターにご連絡ください。

3.1 配線

以下の図にしたがってカメラをネットワークに接続してください

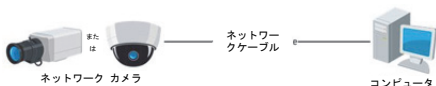


図 3-1 直接接続



図 3-2 スイッチまたはルータ経由の接続

3.2 カメラのアクティベート

カメラの使いはじめる前に、まず強力なパスワードを設定してカメラをアクティベートする必要があります。

Web ブラウザ経由のアクティベート、SADP 経由のアクティベート、ならびにクライアントソフトウェア経由のアクティベートのすべてに対応しています。SDAP ソフトウェアおよび Web ブラウザ経由のアクティベーションを例にカメラのアクティベーションを説明します。クライアントソフトウェア経由のアクティベーションについてはネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション

手順:

1. カメラの電源をオンにし、カメラをネットワークに接続します。
2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、[エンター] キーを押してアクティベーションインターフェイスに入ります。

注意:

- カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- DHCP がデフォルトで有効化されているカメラの場合、カメラを SADP ソフトウェア経由でアクティベートし、IP アドレスを検索する必要があります。

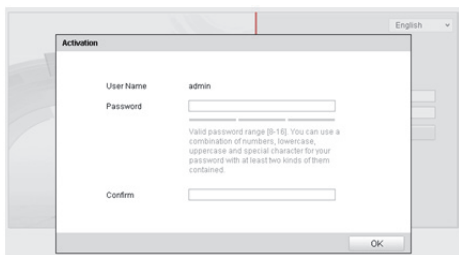


図 3-3 アクティベーションインターフェイス (Web)

3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。



強力なパスワードの推奨 お使いの製品のセキュリティ向上のため、ご自分で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに進みます。

3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション

SADP ソフトウェアはオンラインデバイスの検知、カメラのアクティベート、およびパスワードのリセットに利用します。

SADP ソフトウェアを付属のディスクまたは公式の Web サイトから入手し、プロンプトにしたがって SADP をインストールします。カメラのアクティベーションの手順にしたがってください。他の2つのアクティベーション方法については、ネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行し、オンラインデバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。

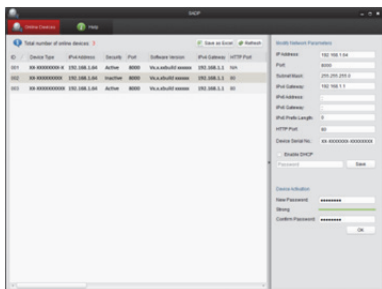


図 3-4 SADP インターフェイス

注意:

SADP ソフトウェアはカメラの一括アクティベートをサポートしています。詳細については SADP ソフトウェアのユーザマニュアルを参照してください。

3. パスワード入力欄から新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワードの推奨— お使いの製品のセキュリティ向上のため、ご自分で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. [OK] をクリックしてパスワードを保存します。

ポップアップウィンドウからアクティベーションが完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して再試行してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

カメラを LAN (ローカルエリアネットワーク) 経由で閲覧、設定するためには、ネットワークカメラをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。その上で、SADP ソフトウェアもしくはクライアントソフトウェアをインストールし、ネットワークカメラの IP を検索して変更します。ここでは、SADP

ソフトウェア経由での IP アドレス変更を例に取り上げて、IP アドレス変更の説明いたします。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. アクティブデバイスを選択します。

注意:

カメラがアクティブでない場合、3.2 章を参照して、カメラをアクティベートしてください。

3. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピューターと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する] のチェックボックスをチェックしてください。

Modify Network Parameters

IP Address:	192.168.1.64
Port:	8000
Subnet Mask:	255.255.255.0
IPv4 Gateway:	192.168.1.1
IPv6 Address:	..
IPv6 Gateway:	..
IPv6 Prefix Length:	0
HTTP Port:	80
Device Serial No.:	XX-XXXXXXX-XXXXXXX
☐ Enable DHCP	
Password	Save

図 3-5 IP アドレスの変更

4. パスワードを入力し、IP アドレスの変更を有効化してください。

SADP では IP アドレスの一括変更がサポートされています。詳細については SADP のユーザマニュアルを参照してください。

4 Web ブラウザ経由のアクセス

システム要件：

オペレーティング システム:Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上

CPU:2.0 GHz またはそれ以上

RAM:1G またはそれ以上

ディスプレイ:解像度 1024×768 またはそれ以上

Web ブラウザ:Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Apple Safari 5.0.2 以降のバージョン、Mozilla Firefox 5.0 以降のバージョンおよび Google Chrome 18 以降のバージョン

手順:

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーにネットワークカメラの IP アドレスを入力し、**[エンター]** キーを押してログインインターフェイスに入ります。

注意:

- デフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
 - カメラがアクティベートされていない場合、3.2 章にしたがって、まずカメラをアクティベートしてください。
3. ユーザ名とパスワードを入力します。

管理ユーザはデバイスのアカウントおよびユーザ/オペレータの権限を適切に設定する必要があります。必要のないアカウントおよびユーザ/オペレータ権限は削除してください。

注意:

管理ユーザがパスワード入力に 7 回失敗するとデバイスの IP アドレスはロックされます (ユーザ/オペレータの場合、5 回)。

4. **[ログイン]**をクリックします。

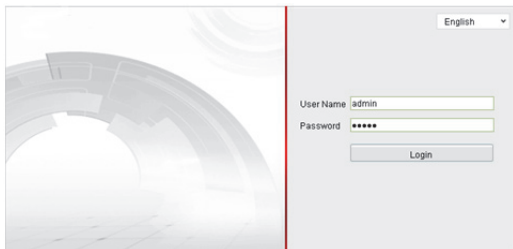


図 4-1 ログインインターフェイス

5. ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。



プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

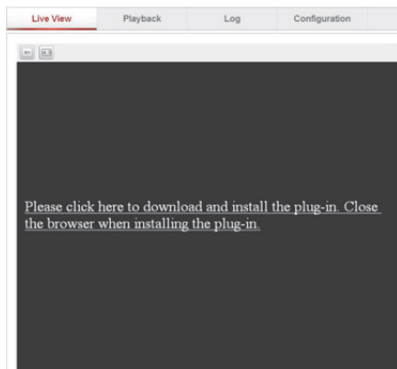


図 4-2 プラグインのダウンロード

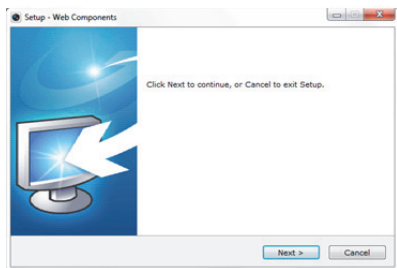


図 4-3 プラグインのインストール (1)

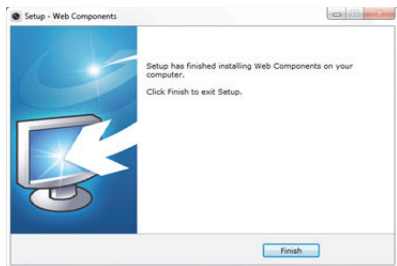


図 4-4 プラグインのインストール (2)

6. プラグインをインストールした後で Web ブラウザを再起動し、ステップ 2～4 を繰り返してログインします。



その他の設定の詳細な解説についてはネットワーク カメラの使用説明書を参照してください。

Made in China

First Choice for Security Professionals